

これ以上の死亡災害を発生させないために

(茨城労働局長メッセージ)

今年の茨城県下における死亡災害は、現時点で19名にのぼり、既に昨年1年間の総人数を超える尊い命が失われているという厳しい状況にあります。また、休業4日以上之死傷者数も、8月末日現在で1,984名と、昨年同時期と比較し277名も増加しており、極めて憂慮すべき事態となっています。

死亡災害の態様としては、高所からの墜落、機械へのはさまれ・巻き込まれが半数を占め、基本的な安全対策を講じていれば、発生に至らなかったと思われる災害がほとんどです。また、被災者のうち8名が60歳以上の労働者であり、就業構造の変化に対応し、働く高齢者の特性に配慮した職場づくりも喫緊の課題となっています。

誰もが安心して健康に働くことができる職場を実現するためには、経営トップをはじめとする関係者全員が「安全はすべてに優先する」という意識を共有し、労働により命を落とす人を決して出さない、という強い決意をもち、それぞれの立場で責任ある行動をとることが必要です。

具体的には、それぞれの事業場において、経営トップの参加のもと、安全衛生活動の総点検を実施するなどにより、安全衛生管理体制を確立させ、労使が一体となって、計画的かつ継続的な安全衛生活動に取り組むことが重要です。

つきましては、最近の死亡災害の発生原因を分析した上でチェックリスト(製造業用と建設業用)」を作成しましたので、これを活用の上、下記の取組を実施していただくようお願いいたします。

記

- 1 経営トップ参加の下に職場の安全パトロールを実施するなど、職場内における安全衛生活動の総点検を実施すること。
- 2 安全管理者等の選任義務がない事業場においても、安全の担当者(安全推進者)を配置するなど、事業場の安全衛生管理体制を充実させること。
- 3 作業内容変更時や雇入れ時の教育を徹底する等、効果的な安全衛生教育を実施すること。
- 4 4S活動(整理、整頓、清潔、清掃)、危険予知、ヒヤリ・ハット活動、危険の「見える化」などの日常的な安全衛生活動を活性化させること。
- 5 防護柵の設置、修理・点検時における機械停止の徹底、手すり等の墜落防止措置や墜落制止用器具の使用の徹底、高所等から部材等の落下を防ぐ設備(幅木や防網)や立入禁止区域を設定するなど、飛来・落下防止対策を徹底すること。
- 6 60歳以上の高年齢労働者が安全に働けるよう、「エイジフレンドリーガイドライン」に基づく職場環境改善に取り組むこと。

令和3年9月30日

茨城労働局長 下角 圭司

あなたの職場は大丈夫？危険がないかチェックしてみましょう

	チェック項目 (できている場合にチェックしてください)	<input checked="" type="checkbox"/>
1	安全衛生の担当者 を選任していますか。 (安全管理者、衛生管理者、安全衛生推進者など)	<input type="checkbox"/>
2	機械・設備の清掃や修理作業などを行うときに、 機械の電源 を切っていますか。	<input type="checkbox"/>
3	やむを得ず、危険箇所 ^① に身体の一部等を入れる場合に、機械を完全に停止させた 操作盤にその旨を表示する等 により、不意に作動することがないようにしていますか。	<input type="checkbox"/>
4	フォークリフトで作業を行うときに、 フォークリフトの爪 (フォークに差したパレットを含む)を足場代わりに使っていませんか。	<input type="checkbox"/>
5	クレーン等で作業を行うときに、つり上げた荷が落下する危険性がある 荷の下などの箇所 に立ち入っていませんか。	<input type="checkbox"/>
6	高さが2メートル以上の開口部等の場所で作業を行うときに 墜落制止用器具(安全带) などを使用していますか。	<input type="checkbox"/>
7	安全衛生教育 を実施していますか。 (雇入れ時又は作業内容を変更した時など)	<input type="checkbox"/>
8	通常作業及び清掃時等の非定常作業について、 安全な作業手順 を作成し、作業者全員に周知していますか。	<input type="checkbox"/>
9	機械・設備が安全に使用できるように 点検・修理等 を実施していますか。	<input type="checkbox"/>
10	免許 を受けたり、 技能講習 を修了することが必要な業務に、無資格のままで従事させていませんか。	<input type="checkbox"/>

(点検実施日 年 月 日)



あなたの職場は大丈夫？危険がないかチェックしてみましょう

チェック項目 (できている場合にチェックしてください)		<input checked="" type="checkbox"/>
1	高さが2メートル以上の場所で作業を行うときに、幅 40センチ以上 の作業床、高さ 85センチ以上 の手すり、 中さん等 を設置していますか。	<input type="checkbox"/>
2	スレート等の屋根上で作業を行うときに、幅 30センチ以上 の歩み板や 墜落防止のネット を張るなどの対策をしていますか。	<input type="checkbox"/>
3	高さが2メートル以上の場所で作業を行うときに、 開口部への囲いや墜落制止用器具（安全带） などを使用していますか。	<input type="checkbox"/>
4	高所等で作業を行うときに、 物体の飛来、落下を防止する設備や防網（安全ネット）、立入禁止区域を設定する などの対策をしていますか。	<input type="checkbox"/>
5	建設機械やクレーン等を使用するときに、周囲の作業員と接触しないために柵等による 作業半径内の立入禁止や誘導員を配置する などの措置を行っていますか。	<input type="checkbox"/>
6	建設機械で作業するときに、作業等する 通行範囲に敷き鉄板を敷く等 の地盤の沈下を防止するなどの措置を行っていますか。	<input type="checkbox"/>
7	建設機械で作業するときに、掘削箇所周辺の地質の状況、埋設物等の有無の調査を行い、その結果をもとにした 安全な作業計画を作成し、作業員全員に周知 していますか。	<input type="checkbox"/>
8	クレーン機能付きの建設機械で荷のつり上げを行うときに、 小型移動式クレーン等の資格を持った有資格者に操作 を行わせ、定格荷重を超えないように クレーンモード で作業していますか。	<input type="checkbox"/>
9	はしごや脚立等を使用するときは、 はしごの上部、下部の固定状況等の確認や転位防止、開き角度を75度以下にする などの措置を行っていますか。	<input type="checkbox"/>
10	免許を受けたり、技能講習を修了することが必要な業務に、無資格のまま で従事させていませんか。	<input type="checkbox"/>

(点検実施日 年 月 日)



令和 3 年 死亡災害事例

令和 3 年 9 月 29 日現在

NO. 発生月 時間帯	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	事故の型	災害の概要
			起因物	
No.1 1月 17～18時	作業員 20歳代 5年	その他の 土木工事業	交通事故	事業場から送迎の指示を受け、事業場所有の普通貨物自動車に同僚1名を乗せて道路を走行中、道路沿いのガソリンスタンドの外壁に衝突し、運転していた労働者が死亡した。
			乗用車・バス・バイク	
No.2 2月 19～20時	その他の 製造工 20歳代 4年	製鉄・製鋼 ・圧延業	はさまれ・ 巻き込まれ	1人で不具合のあったベルトコンベヤーの点検作業を行っていたところ、ベルトコンベヤーに上半身をはさまれ、死亡した。
			コンベア	
No.3 2月 4～5時	作業員 30歳代 4か月	その他の輸送 用機械等 製造業	はさまれ・ 巻き込まれ	製品の燃料タンク（重さ約15キロ）を荷物用昇降機に載せる作業中、昇降機の搬器部分に上半身をはさまれ、死亡した。
			エレベータ、リフト	
No.4 3月 14～15時	車両系建設 機械運転者 70歳代 30年	建築設備 工事業	崩壊・倒壊	ガラスサイロ内でドラグショベルを使用して、固まったガラスを取り除く作業中、壁側のガラスがドラグショベルにのしかかってきたため、ドラグショベルの運転作業に従事していた被災者がキャビンごと押しつぶされた。
			その他の 材料	
No.5 3月 6～7時	調教助手 50歳代 26年	畜産業	墜落・転落	競走馬のトレーニングセンターの馬場において、競走馬の調教をしていたところ、騎乗していた馬が左前脚を骨折して転倒し、被災者は落馬して地面に投げ出され、死亡した。
			その他の 環境等	
No.6 3月 16～17時	とび工 30歳代 20年	鉄骨・鉄筋コ ンクリート造 家屋建築 工事業	飛来・落下	RC造8階建共同住宅修繕工事の外部足場組立作業中、4m単管4本を吊袋に入れ荷上げ、6階部分で荷取後、1本目を引き抜いた時に吊袋のバランスが崩れ、残りの3本が地上に落下し、被災者に当たった。
			金属材料	
No.7 4月 14～15時	運転者 50歳代 9か月	産業廃棄物 処理業	転倒	フォークリフトで走行中、突然通路（ステンレス製の床）が凹み、バランスを崩して転倒し、フォークリフトと床の間にはさまれ死亡した。
			フォーク リフト	
No.8 4月 15～16時	板金工 50歳代 30年	その他の 建築工事業	墜落・転落	屋根補修工事のため、スレート板を持ちながらスレート屋根上を歩いていたところ、スレート板を踏み抜き、約6.2m下のコンクリート床面に墜落し、死亡した。
			屋根・はり・ もや・けた・ 合掌	

NO. 発生月 時間帯	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	事故の型	災害の概要
			起因物	
No.18 7月 0～1時	事務員 50歳代 7年	銀行・信託業	その他	事業場内において新型コロナウイルス感染症に罹患し、その後死亡した。
			その他の 起因物	
No.19 9月 14～15時	作業員 20歳代 5年	機械器具設置 工事業	激突され	工場建設工事現場において、小型ボイラー（高さ約2.7メートル、重さ約3トン）を据え付けるための搬入作業で、架台に寄せ換えていたところ、当該小型ボイラーのバランスが崩れ横転し、被災者が下敷きになった。
			荷姿の物	

※ 死亡災害事例は速報であり、今後変更することもあります。